

大船渡市「デジタル公民館まっさき」 平成 28 年 10 月活動報告

PC ネットよろず相談 現地参加者アンケート結果

10月16日(日)
9:00 ~ 12:00
8名(回答数 7名)

1. あなたの性別を教えてください。

男性	2名
女性	5名

2. あなたの年代を教えてください。

～34歳	0名
35～49歳	0名
50歳～	7名

3. まっさき活動(パソコン、竹とんぼ、キッズディー、ごいし民俗誌、映画会等)への参加回数を教えてください。

初めて	2名
2～4回	0名
5回以上	2名
10回以上	3名

4. お住まいはどちらですか？

末崎町内	5名
それ以外(綾里1、未回答1)	2名
未回答	0名

5. 本プログラムはいかがでしたか？

とてもよかった	6名
よかった	1名
どちらでもない	0名
あまりよくない	0名
よくない	0名
未回答	0名

6. また参加したいと思いますか？

ぜひ参加したい	5名
参加したい	2名
どちらとも言えない	0名
あまり参加したくない	0名
参加したくない	0名

7. 今回のプログラムを何で知りましたか？

館報まっさき	5名
戸別配布チラシ	2名
デジタル公民館まっさきのWebサイト・フェイスブック	4名
KK2のサイト	1名
メルマガ・DM	0名
友人・知人経由	1名
前回参加	3名
その他	0名
未回答	0名

8. ご意見・ご要望・苦言など、何でも結構ですのご記入下さい。

・複数撮った写真の整理について「スゴ技」を教わりました。今までずいぶん無駄な時間をかけていたのをいまさらに思います。整理がたいへん楽になり、本当に感謝です。ありがとうございました。前回、ご指導いただいたICレコーダの使い方、月々、役立てております。あわせてありがとうございました。

9. ご自宅でパソコンは持っていますか？

持っている	3名
持っていない	0名
未回答	4名

10. ご自宅にインターネット回線はありますか？

ある	3名
ない	0名
準備中	0名
未回答	4名

11. 普段パソコンでしていること、今後覚えたいことを、「内容」ごとに教えてください。(複数回答)

内容	していること	覚えたいこと
インターネットの閲覧	1名	1名
メール	1名	0名
フェイスブック	1名	0名
ブログ	0名	0名
ホームページ作成	0名	1名
文章作成	1名	名
写真保存	1名	名
計算ソフト	名	2名
未回答		4名

12. 今後、私はこんなことがしたい、または地域にしてあげたいと思っていますか？
(複数回答)

パソコンの使い方を知らない人に教えられるようにする。	1名
パソコンを使えない人が調べたいことを代わりにインターネットで検索する。	0名
パソコンを使えない人に代わってネット通販で生活必需品を一緒に購入する。	1名
ブログや Facebook で仲間たちや知り合いと情報交換する。	2名
インターネット電話 Skype (スカイプ) で遠く離れている人と電話やテレビ電話をする。	0名
わかめなどの地域の名産品や観光・文化等を全国に PR する。	1名
町を離れた人に復興やまちづくりの情報を発信する。	1名
高齢者、現役世代、子どもたち等に話を聞いて紹介する。	1名
その他	0名
未回答	4名

大船渡市「デジタル公民館まっさき」 平成 28 年 10 月活動報告

まっさきに学ぶ！ まっさき活動 意見交換会 参加者アンケート結果

10月16日(日)
1430 ~ 15:30
6名(回答 6名)

1. あなたの性別を教えてください。

男性	4名
女性	2名

2. あなたの年代を教えてください。

～34歳	0名
35～49歳	1名
50歳～	5名

3. まっさき活動(PC、竹とんぼ、キッズデイ、ごいし民俗誌、映画会、避難所運営ゲーム等)への参加回数を教えてください。

初めて	0名
2～4回	1名
5回以上	0名
10回以上	5名

4. お住まいはどちらですか？

末崎町内	6名
それ以外	0名

5. 参加していかがでしたか？

とてもよかった	5名
よかった	1名
どちらでもない	0名
あまりよくない	0名
よくない	0名
未回答	0名

6. 引き続きこういう場は必要だと思いますか？

ぜひ必要	5名
必要	1名
どちらとも言えない	0名
どちらかという必要ない	0名
必要ない	0名
未回答	名

7. 今回のプログラムを何で知りましたか？

館報まっさき	4名
戸別配布チラシ	1名
デジタル公民館まっさきの Web サイト・フェイスブック	1名
KK2 のサイト	名
メルマガ・DM	名
友人・知人経由	2名
前回参加	3名
その他	名
未回答	名

8. ご意見・ご要望・苦言など、何でも結構ですのでご記入下さい。

- ・今まで自分は常連として当たり前に参加していましたが、市内の他地域では IT ボランティアは全くないとわかりました。今回参加した三陸町の友人は貴重な体験をしたと思って帰宅したと思います。
- ・ありがとうございます。今までの積み重ねを活かしながら継続させることが大事だと思います。
- ・課題もあると思いますが、今後も続けていただきたい。
- ・今後も継続してほしい。
- ・今後に向けた議論ができてよかったと思います。もしかしたら、一度住民だけで議論する場があってもよいかと思いました。

学びを通じた被災地のコミュニティ再生支援事業

大船渡市「デジタル公民館まっさき」 平成 28 年 10 月活動報告

スタッフ・アンケート結果(9 名中 7 名)

1. あなたの性別を教えてください。

男性	6名
女性	1名

2. あなたのメンバー区分を教えてください。

KK2 メンバー	3名
Web 会員	3名
一般	1名

3. あなたの年代を教えてください。

～34 歳	2名
35～49 歳	1名
50 歳～	4名

4. KK2 プログラムへの参加回数を教えてください。

初めて	2名
2回～4回	1名
5回以上	1名
10回以上	3名

5. 中森熊野神社式年大祭の視察と撮影活動、パソコン・ネットよろず相談、現地側と活動スタッフ側の意見交換で構成した今回の活動について、全体的にいかがでしたか。

とてもよかった	5名
よかった	2名
どちらでもない	0名
あまりよくない	0名
よくない	0名

(自由記述)

・2日間という限られた時間の中で、地元の伝統を見る機会もあり、よろず相談もあり、意見交換もあり、とても良かったです。特に意見交換では、今後の活動について共通認識を持たせたことは大きな意味があると思います。

・今回は今まで以上に頭を使った2日間でした。意見交換会に向けての夜の話し合いや、実際の意見交換に参加して、自分がただお困りごとを助けるボランティアであるべきではないのだと感じながら、「長期的に見て本当に地域のためになる活動ってどんなことだろう」といろいろなことを考えました。

今までは被災地を自分の目で見て感じて学んで、震災の怖さや街づくりの大切さを将来の生徒たちに伝えていきたいという思いで参加していました。今回は活動のあり方や意義を考え、当事者意識を持って、どうすればデジタル公民館まっさきが地域のためになるのか、自分にできることは何かを真剣に考えました。いろいろな立場の人がいて、いろいろな問題が複雑に絡み合っていて難しく感じますが、これからも大人から学びながら一緒に考えていけたら嬉しいです。

・神社の祭は小学生以来だったので新鮮味があり、末崎地区の方に優しくしていただき、とてもフレンドリーな祭でした。また、行政区毎の盛り上がりの違いは地区の青年団、子ども会、婦人会等の活気の違いとも思いました。

・祭の見学はたいへんよかったです。住民が祭に集中していて、神事としての祭を感じることができました。また、多世代交流、コミュニティの形成ということでも大きな役割を持っていると思いました。PC によらず相談は、現地側、スタッフ側共に新メンバが参加し、新鮮な雰囲気もありました。スタッフ側の対応も全員がフレンドリーに、かつ課題解決に真剣に取り組んでおり、よかったです。意見交換は、現地のしぐらみ、館長の立場もあり、結論を出すまでに少々時間がかかりそうでした。現地の方が集まりやすい時に集まって、PC をこんなことに使って便利だ、こんなことで困っているなどと、お茶っこしながら定期的に情報交換する場を公民館で持って、参加できるときに地域でパソコンビジネスをされている方が参加し、問題解決を図る方法があるかと思えます。そして、年に何回か、土日に KK2 のよろず相談メンバと交流することができると思えます。全体的にゆとりがあり、内容もあり、ふれあいもあるよい活動でした。

・パソコン・ネットよろず相談スタッフ側の視点では、中森熊野神社式年大祭はしきたり、習わしの記録対象。地域の方々々が被写体であることから、これをコンテンツとした「学ぶ記録」として、どう撮影し、どう記録するかについて、話し合い、その成果物を文化際へ出展する取り組みも良かったのではないのでしょうか。

大学が被災地に映画の制作法を教示した例があります。パソコン・ネットよろず相談で得たノウハウで、中森熊野神社式年大祭を記録し、伝達し、表現する取り組みにより、パソコン・ネットよろず相談の認知度、パソコン・ネットの有効性を訴求する効果が期待できるのではないかと思いました。中森熊野神社式年大祭があまりにもインパクトがあり、そう思案した次第です。Facebook において、中森熊野神社式年大祭に関する画像が、制御することなく流通している状況を、パソコン・ネットよろず相談の一定の成果として捉えても良いのではないのでしょうか。

・今回の活動では、4年に一度の中森熊野神社式年大祭に、都会のよそ者が参加・体験できたことが最も有意義だったと思います。

6. お祭りの参加は全体的にいかがでしたか

とてもよかった	7名
よかった	0名
どちらでもない	0名
あまりよくない	0名
よくない	0名

(自由記述)

・地元の方が大勢集まり、賑やかで迫力がありました。虎舞や子ども七福神の踊りでは、大人だけでなく、子どもたちも一生懸命踊っていて、また、会場も一体となっており、とても素晴らしいお祭りでした。

・「まだみんな踊る気分になれないから、今年は踊らないんだ」(祭り行列に一段と華やかあでやかにする婦人たちの手踊りは今回も復活していない)と、よろず相談参加者からお聞きしたことを含めて、5年分の皆さんの想いを沢山感じることができました。子どもがあんなに一生懸命踊るのは、伝統なくしてはならないことだと感じました。まっさきにあれだけ人がいることを知って、デジタル公民館まっさきをもっと盛り上がったらいいなと思いました。

・業務都合上不可能でしたが、できれば前泊して参加し、一部始終を観察してみたかったです。観光対象の商業的なものではなく、厳かな神事である祭に、よそ者と認識されながらも、集落の車座の中でお弁当を頂いたり、撮影を許可されたことから、kk2 が集落の構成要素的な位置づけで受け入れられていることをあらためて認識致しました。

・14日入りした記録映像撮影チームは、ロケハン、前日夜の神事などで祭典実行委員会の主要メンバーや熊野神社志田隆人宮司など関係者にも顔合わせでき、当日の早朝には七福神や才坊振りの子どもの化粧や着付け、お神輿、神官、儀式関係者の海上渡御にも乗船させていただきました。パソコンよろず相談はともかく、デジタル公民館の活動が、思っていた以上に地域の方々々に知られ、受け入れられていることを実感しました。15日昼より合流した活動スタッフにとっても、子どもから高齢者まで地域住民が力を合わせて取り組み、楽しんでいる伝統的な祭事を目のあたりにし、単なる観光客ではなく、地域の方々との交流活動として祭りを体験できたことは、限られた時間で、無理無理のプログラムではありましたが、良かったのではと思います。

7. パソコン・ネットよろず相談について

7-1 よろず相談はよかったですか？

とてもよかった	3名
よかった	4名
どちらでもない	0名
あまりよくない	0名
よくない	0名
未回答	0名

7-2 具体的なよろず相談対応について：(網掛け部分は非公開)

① Aさん

・内容

来訪の目的はパソコンではがきの印刷データの作成。しかし、持参されたノート PC のパスワードが不明なため、再セットアップから一緒に実施することを提案。

・対応

① パソコンのセットアップ等

説明書等一式を確認し、操作自体は川上さんが実施しながら手順に沿ってパソコンをセットアップ。前回パスワードを忘れていた経緯もあり、初期設定ではパスワードを設定しないことにした。国産パソコンであり、不要なソフトウェアも自動インストールされたため、ある程度のソフトウェアについては、削除を実施。また、Microsoft Office のライセンス認証も併せて実施。

② スマートフォンからのデータ移行と整理

設定中に、所有しているスマートフォンから写真をパソコンに取り出したいと要望があった。そのため、一緒にパソコンに取込んだ上で、写真の整理を開始。仕事でパソコンを使用しないこともあり、基本操作自体を忘れていたので、写真整理をしながらファイルの移動・削除方法を復習した。

③ はがきデータの作成

はがきデータは一度作成したことがあるようで、表面の作成を復習後、裏面のテンプレートの探し方や、画像データの取込み方法を確認した。

・成果

ファイルの移動・削除方法を習熟し、スマホから写真データを抽出できた。

・気づき・感想・課題など

スマートフォンを日常的に使用しているので、インターネットを使用した検索はできる。しかし、パソコンを使用することは年数回あるかないかであるため、操作自体に慣れない様子だった。特にマウスを使用することに違和感がある様子だった。インターネット関連機器の使用については普及しているが、パソコンは普段使わないので、今後も同様の問題が発生する可能性が高い。Aさんも普段から使わないと忘れてしまうことを懸念していた。

② Bさん

・内容

① パソコンで歌謡曲が聴きたい。

② Excel データを印刷した場合、3 枚中 1 枚から印刷されない。

③ 利用状況集計表 (EXCEL) の合計が合わない。

・対応

① YouTube を使用

普段使用しているブラウザから、ブックマークしている YouTube の表示方法、聞きたい歌手の検索、動画再生までの一連の流れを説明後、自ら操作して頂いた。

②印刷方法の確認

Excel の該当シートを印刷した場合、本来 3 枚印刷されるはずであるにもかかわらず、1 枚しか印刷されない事象を確認し、印刷設定画面でどのようなケースで印刷するのかを項目ごとに説明。

◎ 数式を確認

参照先のずれを修正。来月以降のシート作成について、シートのコピーの仕方を紙に書いて説明。数式が入力されているセルに色を塗り、そのセルは編集しないようにお伝えした。

・ 成果

YouTube の活用方法、Excel における詳細な印刷方法について習熟した。当月の集計表を印刷して頂いた。コピーの仕方を書いた紙を見ながら来月のシートを作成して頂いた。

・ 気づき・感想・課題など

文字や数字の入力は 1 人でも入力できるレベルだが、数式についての理解が浅い印象を受けた。もう少し単純な表で練習すると、少しずつ集計表の数式も理解できると思った。

③ Cさん

・ 内容

「一太郎」でチラシを作りたい（文字入力、写真挿入などしたい）

・ 対応

「一太郎」は普段使わないソフトなので、私自身、その場で調べ、まず自分で操作してから教えるようにした。また、チラシの作成などはパワーポイントが便利であることを説明し、実演した。

・ 成果

文字入力やフォント色の変更をはじめ、スタイルの装飾や写真の挿入、写真サイズの変更は、メモを見ながらある程度ご自身でできるようになった。

・ 気づき・感想・課題など

ご自分でメモをとり、それを見ながら操作するなど、とても意欲的な方だった。ご自宅でも「一太郎」を触って色々チャレンジすることをお勧めした。

④ Dさん

・ 内容

スマホで Facebook からの通知（投稿へのコメントやメッセージの通知）を後で見返すとき、どのような操作でコメント画面・メッセージ画面を開くのか知りたい。

・ 対応

コメント画面・メッセージ画面のそれぞれの開き方を指導。

・ 成果

コメント画面・メッセージ画面をいつでも開けるようになった。

・ 気づき・感想・課題など

忙しさ・使い難さから Facebook の使用を必要最低限にしているようだった。

⑤ Eさん

・ 内容

デスクトップに Facebook と nifty のショートカットを作りたい。Facebook のパスワードを忘れてしまってログインできない。

・ 対応

デスクトップに Facebook と nifty のショートカットを作った。Facebook のパスワードを再発行して忘れないようにメモしてもらった。

・ 成果

デスクトップのショートカットから直接ページを閲覧できるようになった。Facebook のパスワードを再発行して、再びログインできるようになった。

・ 気づき・感想・課題など

Eさんは2週間前にも Facebook のパスワードを忘れてログインできなくなり、ご存知の方に再発行してもらったようだ。Eさんが Facebook に登録しているメールアドレスに送られてくるメールは、Microsoft の outlook で閲覧することができた。

⑥ Fさん

・ 内容

お祭りで撮った大量の写真を整理して Facebook に UP したい。

・対応

③ デスクトップマイフォトのショートカットをつくる。④ 写真を撮った順に並べかえる。⑤ 写真を選別して
ていない写真を削除する。⑥ Facebook に投稿する。

・成果

③から⑤まで一緒に取り組んだところで時間切れとなってしまったが、翌日⑥の過程をご自身で行い、目標を
達成した。

・気づき・感想・課題など

今までマイフォトのフォルダにたどり着くまで時間がかかったり、写真を1枚ずつペイントに表示させて削除
するなど、写真編集に相当なタイムロスがされていたが、ショートステップで簡単に編集できることを知って、
とても喜んでくださった。

⑦ G さん

・内容

震災直前に購入したノートパソコンを最近になって使用するための技術支援

・対応

パソコン自体初心者ということでキーボードの入力に慣れていただくため、KK2 のアンケート用紙を手本にメ
モ帳で入力を練習。PC自体は起動できるが、1アクションするとDISKアクセスランプが点灯したままとな
り、次の操作ができなくなるため、現状を把握。

・成果

キーボード操作はほぼ習得。最後にWORDに触れたが、時間がなくあまり操作できず。PCを快適に動作さ
せるためには、工場出荷状態に戻す必要がある。その方法は教えたが、時間切れのため、操作に自信がない場合
は家電量販店での修理を進めた。

・気づき・感想・課題など

今回はよらず相談の時間が少なく、不完全燃焼。今までの中で一番難解・不可解なPCであり、自己解決する
ためには時間が必要だった。

⑧ H さん

・内容

facebook の使い方を教えて欲しい。

・対応

新規アカウント登録、ブックマーク登録、ショートカット設定、友達検索と申請、投稿について解説し、操作
していただいた。

次の点を解説した。友達申請を受けた場合、知らない方からの場合は、共通の友達が何人いるか等で慎重に確
認し、承認すること。友達申請をするときは、申請ボタンを押すだけでなく簡単な自己紹介等のコメントを添え
て申請すること。投稿文書はスクロールが発生しない程度の長さにすること。投稿写真は5枚を超えないこと。
5枚の投稿写真は投稿順に左列2枚、右列3枚、上行2枚、下行3枚の構成となることなど。

・成果

新規アカウント登録後、友達検索、友達申請・承認、投稿をダミーデータで実施したところ、様々な方の写真
やメモの投稿をご覧になって感激された。

・気づき・感想・課題など

時間の関係で「イイネ」ボタンについて説明できなかった。なんでもかんでも投稿にイイネを押すのではなく、
自分の価値観で本当にイイネと言ってあげたいものにのみイイネボタンを押すこと、何でもかんでも投稿せず、
自分の価値観でイイネと思うもの、同じ価値観の方に共感や知って得になるものについて投稿することなど、基
本的な考え方についてもっと時間をかけてお話しできれば良かった。

しかし、一度にたくさん詰め込むと結局身につかず、覚えられないので適度だったのではないかと。使いながら
疑問を解決してゆく方が良いと思う。しかし、使いながら疑問を解決しようとしても、そばに聞けば答えてくれ
る環境がなければできない。使いながら疑問を解決していくほうが、覚えやすいプロダクトが増える。一方、そ
れを支援するサービスが、周りにある地域とない地域で格差が生じる。そのことを再認識できた。

7-3 よらず相談の運営や全体的な感想について

(自由記述)

・何かをしたいことについて、すぐに誰かに聞ける環境がないことを確認しました。また、聞くことができる場
合でも、基礎知識がない、理解に時間がかかることを自覚しているため、いちいち聞くことが「迷惑」ではない

かという心理が働いていると推察できます。グループや当人での解決のため、Google 検索を使用した問題解決方法を研修することも1つの手段であると考えます。

・地元の方々とKK2メンバーの親しげな交流が印象に残りました。継続的に活動されてきた賜物だと思います。前日が大祭だったこともあり参加人数は少なかったですが、毎回参加される方をはじめ、初めて参加される方も来て下さったようで良かったです。

また、相談やお困りごとは個々それぞれで、その場で対応する難しさを痛感しましたが、できなかったことができるようになり、「楽しい」などのお言葉を聞けてとても良かったです。

意見交換では、口の字型のレイアウトではなく、机をくっつけて距離感を近づけてもよかったのではないのでしょうか。今回は、限られた時間だったので、実際にレイアウトを変えるのは難しかったと思いますが・・・。スタッフのKさんのヘルプに入りましたが、Kさんが親切・丁寧に対応されていて、とても参考になりました。

・お祭りの参加者数を見て、よろず相談は同じ活動内容でも宣伝方法を工夫すれば、もっと人が集まる気がしました。(開催日時の問題も多いようですが...)

意見交換会は、今回はお祭りの翌日ということもあって地域の参加者が少なかったのもっとデジタル公民館に携わる方々の声が入り混じり、活発な議論・建設的な議論ができればいいなと思いました。

・今回の相談者は、ここに持ってくれば何でも対応してもらえるものと思っていました。これは間違いではありませんが、PCの状況によっては、活動時間だけでは時間不足になるため、それに応じた対応が必要です。

・はじめて参加する方が2名いらして、最後までがんばって良かったです。いままで、こうした活動が行われていることを知らなかったようです。現地で、どういう活動が行われているのか、評判が広がればよいと思います。スタッフ側は、フレンドリー、熱心、よく気づき、何も言うことはありませんでした。新人も含め、たいへんよかったと思います。こうしたメンバがそろって、活動していても気持ちがよいですね。

・PCに関するQ&Aは、質問したいことを相手に伝えること自体に一定以上のリテラシが必要です。困っている状況をどう描写したら良いのかさえわからず、電話やネットによる質問は容易ではないこと、教室形式、マニュアル説明方式では対応できず、kk2がこれまで踏襲してきたface to faceの「お茶っ子」方式が最も理にかなっているものと認識しました。そう考えるとIT立国、国民総活躍、地域診療情報共有による地域包括ケアシステム等を実現するためには、無償のPC教室を設置することに加え、数時間に渡って問題解決するまでface to faceで対応する公益事業が必要と考えます。

・今回、はじめての方が2名来られ、それぞれ9時から14時過ぎまで1対1のお困りごと対応になりました。相談料無料で、パソコントラブルに遠慮なく相談できることは、なかなかないのではないのでしょうか。相談中、地域の同郷士では話しにくいのが、よそ者だと話しやすい世間話もあるので、改めて貴重な場であることを再認識しました。一方で、活動を継続する上ではなかなか悩ましい問題だと思いました。

また、今回、熊野神社式年大祭をデジカメ撮影し、フェイスブックに投稿する活動をテーマにしましたが、地域の方も2名が撮影に協力いただきました。16日のよろず相談では、さっそくたくさん撮影したデジカメデータの整理について相談があり、スタッフが対応するなど、プログラムの趣旨が生かされて良かったと思います。式年大祭の片づけや疲れなどの影響もあり、参加人数が少なかったことは残念ですが、次回、再チャレンジです。

意見交換会について、地元の人だけで話し合いをしてはどうか、地域でコンソーシアムをつくって活動継続考えてはどうか、という意見もありましたので、公民館と地域の方々と無理のない計画、ストーリーをつくっていただければと思いますが、それが現実問題としてとても難しいことだからこそ、この活動に意味があったのかもしれないかもしれません。活動スタッフとしては、この活動を通じて得るものがまだまだあると思いますが、まっさきの方々に普通の生活に戻り、多忙になってきていることを考慮すると、そろそろ潮時かもしれないなあ、とも思います。

8. 近隣視察はいかがでしたか？

8-1 広田半島視察、穴通し磯視察について

とてもよかった	6名
よかった	1名
どちらでもない	0名
あまりよくない	0名
よくない	0名
未回答	0名

[自由記述 (ご意見ご感想・などご記入下さい)] :

・あんなに綺麗で神秘的な日の出を見るのは初めてでした。穴通し磯では、船であの穴を通ることができる聞き、体験してみたいと思いました。

・ドライブがちょっとと感じましたが、広田半島から見た日の出は今まで見たどの日の出よりも綺麗でした。朝早起きして本当によかったです。心が洗われました。

・非常に天気良く、寒くありませんでした。朝の広田崎の朝日を見ることができたのはラッキーでした。今後もこの活動で、連れていく機会があれば、積極的に案内します。

・早起きは三文どころか、こんなに得するものだということを実感しました。素晴らしい景色。日の出。天気にも恵まれ、最高の日の出でした。

・リアス式海岸の地形・地層、土地の起伏を観察することで、地理や土地に関する興味・関心・理解を深めることができ、被災地を訪れる価値を社会的にも、自然科学的にも高めた有意義なオプションでありました。学生（大学院）ボランティアの方が帰りの新幹線の中で編集した facebook には、「思い出すだけでじーンとしてしまうくらい、人生で見たどの日の出よりも綺麗でした。」と記しており、感性に満ち溢れた素晴らしい動画を投稿しています。この動画から伝わる感動がこのオプションの意義を何よりも如実に伝えるものと思います。

・自分は広田半島には行かずに、碁石浜の散策と羅・芽衣瑠のさんまの開き作業見学をしました。昆布を拾ってきた地元の女性とも遭遇し、お話もできて良かったです。

9. 今後の「デジタル公民館まっさき」活動への参加について

* 次回第 4 回の活動日程は 12 月 10 日-11 日を予定、「パソコン・ネットよろず相談」+まっさき竹とんぼグループと「ミニ門松づくり教室」を実施する計画です。

ぜひ参加したい	4名
都合がつけば参加したい	2名
内容による。どちらとも言えない	0名
参加は難しそう	0名
参加できない	1名

[自由記述 (ご意見ご感想・などご記入下さい)]:

・「竹とんぼ」、「ミニ門松づくり」ともに、大人と子供で賑わうイメージを持っています。来年以降の活動について、再度意見交換を行う必要はないでしょうか。

・行く度にたくさんのお話を学び、考えることができるので、可能な限り参加したいです。もっとコミットして若さやフレッシュさを生かした取り組みもしていけたらいいなと思っています。

・ミニ門松づくり教室の運営面で少しでもお役に立つこと。関係性ができた竹とんぼチームの方にお会いし、空間を共有すること。教室の風景を撮影し、デジタルコンテンツ化すること。よろず相談では facebook の利用状況をモニタリングしてフォローアップすること。10 月活動では結論に至らなかった今後の活動の方向性の確認など実に密度の高い活動となることを期待されます。

10. 活動全般 (移動、生活、運営面も含め) 事務局へのご意見・ご要望・苦言など、何でも結構ですのご記入下さい。

[自由記述 (ご意見ご感想・などご記入下さい)]:

・今後の運営面の課題について、意見交換を通じて共通認識できたことは良かったと思います。しかし、地域の自発的な活動への移行はなかなか難しい印象も受けました。難しい課題ではありますが、例えば「地方創生」に対して、意識の高い若者を取り込むことができれば、地元主導の計画、活動が少しずつでも進むのではないのでしょうか。

前日のお祭りでは大人と子供、青年たちも含めて、1 つになってお祭りを盛り上げていましたので、地域の絆は深いと感じました。共通の目的に対しては町全体で取り組むことができる素晴らしい団結力があるので、公民館活動についても、「地域」として何か共通の目的を持って取り組む必要性もあると思いました。

・本当に感謝の気持ちでいっぱいです。今回は頭をフル回転させて疲れたけれど、それだけ感じ取って学ぶことができました。去年、大学の招聘講師で KK2 の代表出合ったご縁から、ずっと勉強させていただいて幸せです。また参加したいと思っているので、今後ともよろしく願います。

・こんなにも厳かな神事であるならば、実際には深夜バスの予約は満席で不可能でしたが、前日から深夜バスで

当日の朝にまさき入りして神事に参加し、一部始終を視察したかったと思いました。

次のような告知をする取り組みも有効ではないでしょうか。「この模様はデジタル公民館まさきで視聴可能です。」「デジカメ操作法、デジカメ PC 接続方法、デジカメで撮影した画像の PC での編集方法、メールでの送受信方法（添付方法）、アルバム作成方法、印刷方法、年賀状印刷方法等について、デジタル公民館活動の「パソコン・ネットよろず相談」で問い合わせ対応しています。」